

評価対象	今年度の方策	今年度の具体的数値目標	成果と課題(昨年比)	2学期の主な改善策
I 保護者等との連携	<p>○学校、学年、学級通信の発行や、ホームページの更新及びスクールメールアシストの活用等を通して、タイムリーな情報を提供する。</p> <p>○保護者会・懇談会・電話連絡や家庭訪問を通して、保護者の気持ちや意向をくみ取り、誠実に対応する。</p>	<p>○学校や生徒の様子が分かると感じている保護者が80%以上。</p> <p>○学校は連絡や相談がしやすいと感じている保護者が80%以上。</p>	<p>○学校や生徒の様子がよく分かると思った保護者は80%(-3pt)</p> <p>●学校は連絡や相談がしやすいと感じている保護者は77%(+1pt)</p>	<p>○学年通信やスクールメールアシストでの情報提供の他、行事や部活動の大会結果などホームページにアップしていきます。また、学校からのたよりは、必ず保護者に見せるように指導します。</p> <p>○子どもとの一対一対応の機会を増やしたり、事務連絡だけでなく最近の様子の情報交換をしたりすることを通して、保護者との信頼関係を深めます。</p>
II 確かな学力	<p>○伸ばしたい資質・能力を明確にし、主体的で対話的で深い学びを実践する。</p> <p>○自主学习ノートの継続的な確認と支援や、「学力向上通信」の定期的な発行を通し、家庭学習の量的質的充実を図る。</p>	<p>○授業が分かると感じている生徒が80%以上。</p> <p>○授業が楽しいと感じている生徒が80%以上。</p> <p>○1日あたりの家庭学習(塾等を含める)の時間が、1時間以上である生徒が80%以上。</p>	<p>○授業が分かると感じている生徒は92%(+6pt)</p> <p>●授業が楽しいと感じている生徒は78%(+6pt)</p> <p>●1日あたりの家庭学習(塾等を含める)の時間が、1時間以上である生徒は76%(-6pt)</p> <p>保護者は79%(+2pt)</p>	<p>○学習への見直しをもたせる工夫を行うことで、単元を通して達成感や満足感を味わうことができるような授業づくりに努めます。研修主任や学力向上COが定期的に授業を参観し、助言を行います。</p> <p>○日常生活で活用できると実感できるような学習課題や活動を設定することで、できる、分かる、楽しい授業づくりに努めます。</p> <p>○毎朝自主学习ノートを欠かさずチェックし適切なアドバイスをしたり、効果的な学習方法を提示したりすることで、さらなる家庭学習の質的量的充実を目指します。</p>
III 豊かな心	<p>○学活や道徳等において、あいさつの意義や大切さを考える機会を与え、さわやかなあいさつを生徒自身からできるよう働きかける。校内でのあいさつ運動、小中連携の合同あいさつ運動を行い、あいさつの推進をしていく。</p> <p>○日頃から生徒一人一人と向き合い、長所を褒めて伸ばしていく。学校行事では、生徒全員で1つのことをやり遂げる楽しさを実感できるような企画・運営を行う。</p> <p>○生活アンケートや細かな生徒の観察を通して、いじめ防止に努め、いじめ問題が起きたときにはいじめ防止対策委員会を中心に迅速な対応をする</p> <p>○教師による継続的な呼びかけ、校内におけるポスターの掲示、保護者会、ノーメディアデーを実施する。警察と連携して非行防止教室や情報モラル講習会を実施する。</p> <p>○生徒一人一人が活躍できる場を設定し、自己決定を尊重できる学習環境づくりを推進する。</p>	<p>○自分から進んでしっかりとしたあいさつができる生徒が80%以上。</p> <p>○学校生活が楽しいと感じている生徒が80%以上。</p> <p>○学校のいじめへの対応や対策について、十分親身になって取り組んでいると思う生徒・保護者が80%以上</p> <p>○ケータイ、スマホ、ゲーム機等を毎日、午後9時以降学習以外で使っていない生徒が80%以上。</p> <p>○学校生活において自分の役割果たし、みんなから認められるような自己有用感をもっている生徒が80%以上。</p>	<p>○自分から進んでしっかりとしたあいさつができる生徒は89%(+3pt)</p> <p>○学校生活が楽しいと感じている生徒は84%(+8pt)</p> <p>●学校のいじめへの対応や対策が十分であると思う生徒は77%(+5pt)</p> <p>保護者は66%(+4pt)</p> <p>●ケータイ、スマホ、ゲーム機等を毎日、午後9時以降学習以外で使っていない生徒は37%(-1pt)</p> <p>生徒が使っていないと答えた保護者38%(±0)</p> <p>●学校生活において自己有用感をもっている生徒は74%(+23pt)</p>	<p>○教師による生徒への声かけや、道徳等であいさつの意義を教えることにより、あいさつができるようになってきました。さらにもっと気持ちのよいあいさつができるように、引き続き教師から元気に爽やかな模範となるあいさつをしていきます。</p> <p>○合唱祭や学級、部活動を通して、生徒の役割を明確にし、それを成し遂げるための支援、声かけを行います。</p> <p>○道徳や学活などを通して、いじめについて考える場を設けて、いじめは許されない行為だということを指導していきます。</p> <p>○未然防止策として、生徒主体のいじめ防止活動(ハートフルプロジェクト)をさらに活性化させていきます。</p> <p>○早期発見・早期対応を全職員で心がけ、報告・連絡・相談を欠かさずに行い、生徒、保護者に寄り添う指導をします。</p> <p>○生徒集会で生徒会よりケータイ、スマホの使い方について提案を行います。保護者の方々のご協力もあり、ケータイ・スマホを家族のルールにのっとって使えるようになってきている。今後も保護者との連携をとりながら、改善を進めていきます。</p> <p>○自己有用感は年々向上してきています。生徒に活躍の場を与え、それを賞賛したり、認めたり、励ましたりして生徒全体の活動を通してさらに自己有用感を高めていきます。</p>
IV 活動の意欲	<p>○学活や休み時間等を使い、行事に向けての練習を重ね、その中で学級の絆を深めたり、生徒の自主性を尊重し生徒の連帯感の育成を目指した生徒会活動の充実を図ったりする。</p> <p>○学活・道徳・総合の時間を使って、清掃やボランティア活動の意義について考える機会を設ける。生徒会主催によるボランティア活動を実施し、参加を呼びかける。</p>	<p>○行事(JO,合唱コンクール等)や部活動に積極的かつ向上心をもって参加している生徒が80%以上。</p> <p>○清掃やボランティア活動に友達と協力して進んで取り組んでいる生徒が80%以上。</p>	<p>○行事(JO,合唱コンクール等)や部活動に積極的かつ向上心をもって参加している生徒は88%(±0)</p> <p>○清掃やボランティア活動に友達と協力して進んで取り組んでいる生徒はボランティア67%(-11pt)、清掃91%(+1pt)</p>	<p>○各学級や各部でボランティア活動への参加を呼びかける予定です。多くの生徒に経験させることで、生徒一人一人がやりがいを感じられるような活動にしていきます。また、学年通信や学校通信を通して保護者にもその様子を伝えるようにしていきます。</p> <p>○引き続き、学校行事の意義や目的を伝え、行事に積極的に参加できるようにするとともに、日常の清掃活動等に進んで取り組んでいる生徒の姿を認め、声かけを行っていきます。</p>
V 健康・体力	<p>○日常の生活指導や掲示物を通して、朝食を摂ることの大切さを生徒に伝えていくとともに、保健だよりや学校保健委員会を活用して、保護者からも協力が得られるよう働きかける。</p> <p>○日常の生活指導や掲示物を通して、成長過程での睡眠時間の確保の大切さを生徒に伝えていくとともに、保健だよりや学校保健委員会を活用して、家庭と協働していく。</p> <p>○体力向上プランを周知し、様々な場面(教科体育・部活動・地域の諸行事への参加等)で体力向上を目指す場面を増やす。また、自己の体力を確認し、その伸長や改善を目指す意識の向上を図る。</p>	<p>○毎日必ず朝食をとっている生徒が80%以上。</p> <p>○週平均1日6時間以上の睡眠をとっている生徒が80%以上。</p> <p>○日常的に進んで自分の体力を向上させようとしている生徒が80%以上。</p>	<p>○毎日必ず朝食をとっている生徒は88%(-2pt)</p> <p>●週平均1日6時間以上の睡眠をとっている生徒は75%(+3pt)</p> <p>○日常的に進んで自分の体力を向上させようとしている生徒は84%(+2pt)</p>	<p>○掲示物や保健だより等を活用し、朝食の大切さについて啓発をしていきます。現在流行中の感染症や熱中症の予防の為に規則正しい生活で免疫力を高めることの重要性を理解し、実践し続けるよう引き続き、発達段階に応じた生活指導を続けていきます。</p> <p>○体調不良で来室する生徒の中には、睡眠不足が原因と考えられる者もあり、睡眠の大切さについてその都度個別の指導を行っていきます。また、質の良い睡眠がとれるよう、睡眠時の環境の整備や睡眠前にスマートフォンなどの使用を控えることの重要性を保健便りや保健委員会の取り組みを通して啓発していきます。</p> <p>○体力向上に取り組んでいる意識はもっていますが、「おおいにできた。」とは言えないのが現状です。「自信をもって取り組んだ。」と答えられるように、努力を評価して自信をもたせていきます。自己有用感の味わえる体力づくりへの取り組みにしていきます。</p>

評価対象	今年度の方策	今年度の具体的数値目標	成果と課題（昨年比）	2学期の主な改善策
VI 安全確保・ 施設設備	<p>○登下校や学活、交通指導の中で、交通安全への意識を高め、ヘルメットをかぶるように働きかける。また、危険箇所での一時停止を呼びかける。</p> <p>○避難訓練を通して、避難における注意事項、避難経路等を確認する。</p> <p>○校外委員会のなかで、生徒同士で危険箇所の確認・周知をできるようにする。また、安全マップを各フロアに掲示し、危険箇所を常に把握できるようにする。</p> <p>○日々の校門付近や、定期テスト期間の主要な交差点等での登下校の指導を行い、交通マナーの向上を呼びかける。</p>	<p>○交通ルールを守り、ヘルメットをかぶって登下校している生徒が100%。</p> <p>○災害や、火災発生時の避難の仕方に関する態度を身に付けている生徒が80%以上。</p> <p>○自分の通学路の事故等が起こりそうな危険対応できる生徒が80%以上。</p> <p>○学校の登下校の安全指導が適切であると感じている保護者が80%以上。</p>	<p>○交通ルールを守り、ヘルメットをかぶって登下校している生徒は99%(+1pt)</p> <p>●火災等の事故発生時の避難の仕方に関する知識を身に付けている生徒は80%(-11pt)</p> <p>●自分の通学路の事故等が起こりそうな危険な箇所を知っている生徒は72%(-9pt)</p> <p>○学校の登下校の安全指導が適切であると感じている保護者は87%(-2pt)</p>	<p>○継続して生徒に被害者の立場だけでなく加害者の立場として交通安全について考えさせ、引き続き一旦停止、安全確認を徹底できるよう安全への意識を高めていきます。</p> <p>○避難訓練の避難経路を工夫し、有事の際に迅速な避難をし、危機回避能力を高め、自分の命を自分で守れるようにしていきます。</p> <p>○引き続き、校外委員会での危険箇所の把握と、全体への周知や、学活等を活用しての危険箇所の把握をしっかりとしていきます。安全な登下校に努めます。</p> <p>○交通安全啓発ポスターを掲示したり、帰りの学活等で呼びかけたりすることを通して、安全マナーの向上を図り、学区内の警戒マップを作成します。</p>
VII 進路・ 生き方	<p>○職業調べ、職場体験学習等の啓発的体験や生き方教育講演会、立志式などの学校行事で、ワークシートを将来の夢や希望を意識できるように工夫する。</p> <p>○進路希望調査や教育相談シートを活用し、家庭での進路にかかわる話合いの場面を意図的に行い、学年通信や進路便り、キャリア教育通信により啓発する。</p>	<p>○自分の将来への夢や希望をもっている生徒が80%以上。</p> <p>○親子で進路について話し合う機会を定期的に設けている家庭が80%以上。</p>	<p>●自分の将来への夢や希望をもっている生徒は73%(-4pt)</p> <p>●親子で進路について話し合う機会を定期的に設けている家庭は79%(-4pt)</p>	<p>○(1年生)パスカルを使い、職業適性検査を実施することで、それぞれに合う職業を見つけることで、将来に夢や希望を与えられるようにします。(2年生)上級学校調べや立志式を通し、高校の種類や職業観について学びます。</p> <p>○(3年生)本校に近隣高等学校を招待し、講演をしていただいたり、保護者向け進路説明会を行ったりすることで、家庭内で進路に対して話し合う機会を促していきます。また、進路通信等を通して、情報を発信していきます。</p>